

創造・参加・実践

No.722

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)



「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL06-6375-9869(代) JR071-7155(代)

(FAX) 06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成
編集責任者 田中 佑佳

JR西日本連合「2022年度第2回単組代表者会議」 「第28回労使懇談会」開催

グループ会社・協力会社との 連携強化を確認

JR西日本グループ労働組合連合会（JR西日本連合）は、5月8日（月）ホテルグランヴィア京都において、「2022年度第2回単組代表者会議」「第28回労使懇談会」を開催した。「単組代表者会議」には、JR西日本連合に結集するJR西労組および各グループ会社の労働組合46単組の代表者が、また、「労使懇談会」には単組代表者に加えて会社代表者が出席し、安全確立の取り組み、2023春闘の状況などについて確認し、連携強化を図った。

冒頭、上村議長（JR西労組中央執行委員長）から、JR西日本グループ会社・協力会社の安全確立、2023春闘、コロナ禍を経て西日本連合として取り組むべきことについて挨拶があった。

議事では、白壁事務局長（JR西労組中央本部副執行委員長）が経過報告ならびに、議事として安全確立の取り組み、2023春闘生活闘争について、組織の拡大・強化充実の取り組みについて等の報告と提起があり、それぞれの課題等について議論を交わした。

安全確立については、この間、実施してきた「安全ディスプレイ」での意見等を踏まえて、今後、労使協議に反映していくことや、月に死亡労働災害が発生して、また、死亡労働災害になりにかぬ危険な事象も多く発生していることから、新たに策定された「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の完遂に向け、チェック提言を行い、協力会社を含め、安全確立に取り組むことが確認された。

2023春闘生活闘争については、5月1日現在で西日本連合50単組中、32単組が妥結、そのうち25単組がベア

JR西日本連合2023春闘妥結状況 (2023年5月26日現在)

加盟組合名	妥結日	ベア	期末手当
1 ジェイアールサービスネット金沢労組	3月16日	7,000円	夏季一時金 社員:2.25ヶ月 契約社員:1.65ヶ月
2 ジェイアール西日本金沢メンテック労組	3月13日	社員A・B 10,000円	夏季一時金 社員A・嘱託A:2.2ヶ月 社員B・嘱託B:2.2ヶ月×1/3
3 ジェイアール西日本伊勢丹労組	4月20日	2,000円	年間臨給(夏・冬) ステージB・C・4・C:2.5ヶ月 (6月0.5ヶ月、12月2.0ヶ月) ステージC・3:2.0ヶ月 (6月1ヶ月、12月1ヶ月) ステージC-2:1.0ヶ月 (6月0.5ヶ月、12月0.5ヶ月)
4 ジェイアール西日本ホテル開発労働組合	5月18日	1,000円	夏季賞与 1.5ヶ月
5 関西工機整備労組	4月24日	2,500円	夏季一時金 社員:2.6ヶ月
6 ジェイアール西日本テクシア労組	4月14日	3,500円	年間臨給(夏・冬) 社員4.65ヶ月+100,000円
7 ジェイアール西日本フードサービスネット労組	4月25日	1,000円	夏季一時金 2.0ヶ月 A等級社員:30,000円 新幹線パーサー・PB級100,000円、 PA級120,000円、P1ーP6級150,000円
8 ジェイアール西日本ウェルネット労組	3月28日	2,000円	夏季一時金 1.8ヶ月
9 JR西日本不動産開発労組			
10 ジェイアール西日本ディーラーサービスネット労組	3月17日		夏季一時金 社員:2.20ヶ月 パートナー社員・嘱託:2.20ヶ月
11 ジェイアール西日本総合ビルサービス労組	3月14日	100円	
12 ジェイアール西日本テクノス労組	4月18日	3,000円	年間臨給(夏・冬) 社員:4.6ヶ月+嘱託社員:4.6ヶ月
13 ジェイアール西日本マルニックス労組	3月30日	500円	夏季一時金 社員:1.7ヶ月+7万円 契約社員:0.5ヶ月+5万円 (勤続5年以上0.1ヶ月プラス アルバイト20,000円)
14 ジェイアール西日本メンテック労組	4月18日	1,100円	夏季賞与 社員:2.4ヶ月 社員:1.06ヶ月
15 ジェイアール西日本交通サービス労組	3月27日	1,000円	夏のみ 社員:1.85ヶ月 契約社員:最大150,000円 嘱託社員:1.85ヶ月
16 ジェイアール西日本コンサルタツ労組			
17 ジェイアール西日本ITソリューションズ労組	4月28日	3,000円	夏季一時金 社員:2.4ヶ月+個人加算 契約社員:2.4ヶ月+個人加算 嘱託社員:2.4ヶ月+個人加算
18 大鉄工業労組	4月26日	平均 14,000円	2023年5月31日までに回答日を設定
19 NESCO労組	5月2日	1,000円	夏季賞与 社員:2.05ヶ月
20 西日本電気テック労組	4月27日	3,000円	夏季賞与 社員:2.7ヶ月 契約社員:150,000円
21 JR西日本ヴィアイン労組	3月22日	500円	夏季一時金 サブスタッフ社員:1.078ヶ月
22 日本旅行労組西日本地方本部	3月31日 夏期一時金のみ: 4月26日		夏季一時金 社員:2.0ヶ月 契約社員:1.6ヶ月 冬期一時金については、継続協議とする。
23 JR西日本コミュニケーションズ労組			
24 レールテック労組	4月28日		夏季一時金 社員:2.6ヶ月+50,000円 シニア契約社員:1.3ヶ月+25,000円 契約社員A・B:65,000円 契約社員C:55,000円
25 ジェイアール西日本レンタカー&リース労組	3月13日	1,000円	夏季一時金 社員:1.2ヶ月 エリア社員:1.1ヶ月 契約一種社員:0.8ヶ月 嘱託社員:0.8ヶ月
26 ジェイアール西日本ビルト労組	4月20日	3,500円	年間臨給(夏・冬) 社員:5.0ヶ月+70,000円 契約社員:4.6ヶ月+70,000円 嘱託社員:5.0ヶ月+70,000円
27 ジェイアール西日本商事労組	4月10日	1,000円	夏季手当 2.3ヶ月+100,000円
28 JR西日本カスタマーリレーションズ労組	3月16日	2,000円	年間臨給(夏・冬) 主任以上:3.7ヶ月、SV1級:1.85ヶ月、SV2級:1.85ヶ月、 SV3級:1.75ヶ月、ASV100,000円、契約50,000円
29 ホテルグランヴィア大阪労組	5月23日	1,000円	夏季賞与 1.50ヶ月
30 JR西日本住宅サービス労組	3月30日		
31 JR西日本ボシブル医学科学労組	3月9日		
32 奈良ホテル労組			
33 西日本ジェイアールバスサービス労組			
34 まねき食品労組			
35 神戸CS労組	3月3日		
36 和歌山ターミナルビル労組			
37 ジェイアールサービスネット岡山労組	3月23日	5,000円	年間臨給(冬・夏)夏回答 社員・契約社員:2.35ヶ月 嘱託社員:規定に基づき支給 パートA・B:特別一時金10,000円
38 ホテルグランヴィア岡山労組			
39 JR西日本中国メンテック労組	3月30日	1,000円	
40 後藤工業労組	4月27日	500円	夏季一時金 4.4ヶ月 物価高騰対策一時金として15万円
41 JR西日本山陰開発労組	3月22日		夏季一時金 社員:2.20ヶ月 契約社員:1.50ヶ月 嘱託社員:1.10ヶ月 パート社員:5万円~1万円
42 広島駅弁当労組			
43 ジェイアールサービスネット広島労組	3月20日	2,000円	夏季一時金 社員:1.30ヶ月 スタッフ社員:上限2万円で支給 (前回は上限1万円)
44 JR西日本中国交通サービス労組	4月17日	1,000円	夏季手当 社員:1.85ヶ月 臨時社員:10,000円 嘱託社員:1.85ヶ月
45 西日本バスネットサービス労組			
46 ホテルグランヴィア広島労組			
47 ジェイアールサービスネット福岡労組	3月24日		夏季一時金 社員:2.35ヶ月 専門社員:2.35ヶ月×0.7 嘱託:2.35ヶ月×0.5 クルー社員:労働時間に応じて支給
48 広成建設労働組合	3月31日	5,000円	夏季賞与のみ回答 2.5ヶ月
49 JR西日本新幹線テクノス労組	4月24日	5,000円	夏季一時金 2.5ヶ月
50 西日本旅客鉄道労働組合	3月15日	3,000円	年間臨給 4.2箇月
参考 西日本JRバス地本(西バス地本)	3月30日	1,000円	年間臨給 3.1箇月
参考 西日本JRバス地本(西バス地本)	4月7日	1,000円	夏季手当 1.6箇月

※50単組中39単組で妥結、うち31単組でベアを獲得(JR西労組を含む)

「第32回定期大会」を2023年7月28日(金)に京都にて開催することが確認された。

また、その後、開催された「第28回労使懇談会」では、JR西日本グループ会社、来賓など約180名が出席し、JR西



信楽高原鉄道事故から32年

1991年5月14日に滋賀県信楽町において発生した、信楽高原鉄道とJR西日本の列車が正面衝突した、信楽高原鉄道事故から32年を追悼慰霊碑にて慰霊行動を

中央本部は、5月11日(木)に、上村委員長、京都府本部参加のもと、現地の犠牲者追悼慰霊碑にて慰霊行動を

「事故原因と対策」
信楽駅の出発信号機が停止現示のまま変わらなかったため、代用閉そく方式により列車を発車させることとした。その際、事前に行うべき閉そく区間に他の列車が運行されていないことの確認と、他の列車を進入させない手配を行わなかったため、閉そくを確保しないで出発した上り列車と、小野谷信号場の進行信号により信楽駅に向かった下り列車が、駅間で正面衝突し、死者42名、負傷者628名の重大事故となった。その後の対策として以下の改善が行われた。

- ◆全支社に安全対策室を設置
- ◆運転取扱に関する異常時訓練ができる実設訓練センターを設置
- ◆第3セクターや他社の境界

